

# 渇水及び大雨に対する農作物被害防止対策

令和6(2024)年7月17日  
塩谷南那須農業振興事務所

- ・ 7月17日現在の鬼怒川水系ダム貯水率は58%（平年比74%）、7月15日現在の那珂川水系ダム貯水率は44%（平年比75%）となっており、今後の水不足（取水制限）が懸念されます。
- ・ 一方、まもなく梅雨明けや台風シーズンを迎えることから、梅雨末期や台風による大雨被害が懸念されます。
- ・ 以下の技術対策に取り組むことで、効率的な利水及び大雨対策に努め、被害の未然防止を図りましょう。

## I 共通

### <大雨対策>

- (1) 大雨による冠水等が心配されるので、水はけが悪いほ場では必ず排水路を設置する。また、排水路の点検を行い、冠浸水時の速やかな排水に備える。
- (2) ゴミや刈り払った雑草が水路を塞がないよう、事前に取り除いておく。

## II 普通作物

### 1 水稲

#### <渇水対策>

- (1) 早植の水稲はまもなく出穂時期を迎える。出穂期に水が不足すると不稔や粒の奇形などが発生することから、地域で話し合い、計画的な水利用（番水など）を行う。
- (2) 水田からの漏水を防止するため、畦畔にモグラ穴やザリガニ穴などが点検する。

#### <大雨対策>

- (1) 冠水したほ場は、速やかに排水に努める。

### 2 大豆

#### <渇水対策>

- (1) 開花前～莢伸長期にかけて土壌が過乾燥となった場合、花数減少や落莢、粒が小さくなることが懸念されるため、暗渠が施工してある水田では暗渠の排水弁を閉める。
- (2) 1週間以上晴天が続き、頂小葉が立ち上がり反転して見えたら、額縁明渠（排水溝）を利用して額縁かん水を行う。なお、排水の悪いほ場は湿害発生の危険があるので、かん水は行わない。
- (3) 用水を計画的に利用するよう、地域で話し合う。

#### <大雨対策>

- (1) 大雨により浸水及び冠水したほ場は、速やかに排水に努める。

### 3 そば・こんにゃく

＜大雨対策＞

- (1) ほ場の排水路を確保する。
- (2) 冠水及び浸水したほ場は、速やかに排水に努める。

## Ⅲ 園 芸

### 1 野菜・花き（露地栽培）

＜渇水対策＞

- (1) 敷きわらなどのマルチを行い、土壤水分の蒸発を防止する。
- (2) 地域で話し合い、計画的な水利用（番水など）を行う。

＜大雨対策＞

- (1) ほ場の排水路を確保する。
- (2) 冠水及び浸水したほ場は、速やかに排水に努める。
- (3) 病気が発生しやすくなるので、防除を実施する。

## Ⅳ 畜 産

### 1 畜舎

＜大雨対策＞

- (1) カーテン等の固定状況を点検し、補修、補強をしておく。
- (2) 雨水の流入が心配される場合は、土のう等により対策を講じておく。
- (3) 車両や飼料、機器を水没しない場所へ移動しておく。
- (4) 風雨により浸水する可能性のある電気設備の防水対策を講じておく。

### 2 飼料用とうもろこし

＜大雨対策＞

- (1) ほ場の排水路を確保する。
- (2) 冠水及び浸水したほ場は、速やかに排水に努める。

### 3 停電による搾乳不能に備えて

＜大雨対策＞

- (1) 発電機の準備と燃料の確認を行っておく。
- (2) 停電時に搾乳する場合は高泌乳の牛から行う。また、濃厚飼料の給与は控える。

## Ⅴ 農地・農業水利施設について

＜渇水対策＞

- (1) 用水を計画的に利用するよう、以下のとおり番水を行う。
  - ① 用水区域内をブロック分けし、順番に配水を行う
  - ② ほ場ごと順番に時間を決めて配水を行う
  - ③ 水源から数日の間隔で取水を行う。
- (2) 間断かん水（水田に水をため、自然に落水してから、数日おいて入水）を繰り返す。
- (3) 用水の反復利用（上流からの配水をせき止め、ポンプ等にくみ上げて再利用）を行う。

＜大雨対策＞

- (1) 農地の冠水が予想される場合は、排水路の点検を行う。

- (2) 農業水利施設の巡視、動作点検(堰のゲート開閉等)、事前操作を行う等、適切な施設管理を実施する。
- (3) ため池の被害防止のため、事前に洪水吐・堤体等の点検、洪水吐の閉塞の原因となる流木、浮遊物の除去等を行うとともに貯留水の放流による水位低下に努める。
- (4) 災害発生後、最新の気象情報を収集し、土砂災害、河川の増水や氾濫に注意するなど、身の安全を確認した上で農地や農業水利施設の巡視及び点検を行う。
- (5) 被害が確認された場合は、市町や農業振興事務所へ速やかに連絡する。

～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「栃木県農業危害防止運動」の実施期間です。



- ・安全作業の第一歩！ 農業散布時の身支度は万全に！
- ・いつものチェック！ 農業使用の際は、ラベルをよく読み正しく使しましょう！
- ・農業散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！
- ・周辺への配慮！ 住宅地等でやむを得ず農業を使用する際は十分に配慮しましょう！
- ・農業散布のその後に！ 防除器具の洗浄も必ず行いましょう！

7月～8月は「農作業中の熱中症による体調不良」が増加します。



夏の農作業で、以下のことに気をつけましょう。

- ・日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。
- ・こまめな休息、水分補給を行いましょう。
- ・体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう。